

## 餃子パーティー

吉田 想陶

11月に入り日に日に寒さも増してきました。最近では日中も気温が上がらず一日中零下の日もあり、11月の半ば頃には太原に今年初めての雪が降りました。屋外は非常に寒いのですが、屋内には暖气(ヌアンチー)と呼ばれる蒸気や熱湯を利用した暖房器具が設置されているためそれほど寒さを感じません。授業にも慣れてきたこともあり、もっと様々な行事に参加し交流の場を広めたいと考え、今月は国際教育学院主催の交流会と、日本語協会(山西大学で日本語を勉強している学生のサークル)の勉強会に参加しました。

11月の16日に国際教育交流学院の留学生と先生方で餃子パーティーを行いました。先生方、各国の留学生と協力し一緒に餃子を作り、また留学生がそれぞれ母国の手料理を振る舞い交流を深めました。私たち日本人留学生は炊き込みご飯と赤飯でおにぎりを作り、それぞれの国の料理を楽しみながら有意義な時間を過ごしました。餃子の一つ作るにも国ごとで形が異なり、改めて文化の違いを感じました。中国と日本の餃子は似ていましたが、韓国とアルメニアの餃子は丸い形をしていたため驚きました。

11月17日に参加した日本語協会の勉強会では、日本語学科の学生だけではなく、他学科の日本に興味を持つ多くの学生が勉強に励んでいました。日本語学科の学生や、自主的に日本語を勉強してきた学生が、日本語を勉強したい学生に日本語を教えており、活動内容は1時間の座学の後1時間日本のアニメやドラマをみんなで鑑賞するといったものです。多くの学生が日本のアニメや漫画に興味を持っており、私が日本から来た留学生だとわかると積極的に話しかけてくれました。中国の学生の間でも「ワンピース」という日本で大人気のアニメが流行っているようで、私より詳しい学生もいました。アニメやドラマを通し日本の文化に興味をもってもらうことは、日本人の私にとって嬉しいことです。

12月にも様々な行事があるそうなので、積極的に参加し、ここでしか経験できないことをたくさん経験していきたいと思います。



みんなで餃子を作っている様子



各国の学生が作った餃子



日本語協会の勉強会の様子